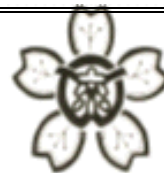


# 朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校  
児童数 996名  
令和5年 卒業・進級号



## 令和5年度へ！ I can do it！ Let's do it！

校長 田邊 雅也



### 自律と探究、試行錯誤の一年間

例年より早い桜の開花となりました。合言葉、「花あり歌あり 笑顔あり そして未来あり」の「花あり」にふさわしい季節です。子供たちの卒業と進級を同時にお祝いしてくれているようです。3月22日に、第56回卒業証書授与式にて、157名の子供たちが朝霞第六小学校から巣立ちます。また、在校生839名は、3月24日に、修了式を迎え、全課程を修了します。感染症対策も緩和され、卒業証書授与式は、3年ぶりに、ご来賓、お子さん1人につき2名の保護者をお迎えすることとなりました。卒業証書を受け取る卒業生の姿も、修了証を受け取る在校生も、きらきらと輝いています。

今年度の学校だよりを振り返ると、「自律と探究」による子供たちの試行錯誤を、大人がどう支えていくのか、という内容でした。学校だけでは実現できないことも多く、保護者、地域の皆様の多大なご協力をいただき、子供たちはたくましく成長しています。本当にありがとうございました。

#### 1年間の学校だよりのタイトル

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 4月  | ご入学、ご進級 おめでとうございます |
| 5月  | 「自律と探究」のスタート       |
| 6月  | 「自律と探究」は未来を築く      |
| 7月  | 一人一人の輝きで「カラフル」に    |
| 夏休み | 自分の力で輝く夏休みに        |
| 9月  | 試行錯誤と問題解決で喜びを      |
| 10月 | 地域とともにある学校を        |
| 11月 | 読書の秋・デジタルの秋        |
| 12月 | あらゆる未来のために生まれてきたのだ |
| 冬休み | やってみなくちゃわからない！     |
| 1月  | 一兎、二兎を追うのも情熱次第     |
| 2月  | 自分の殻を破る            |
| 3月  | 「自律と探究」は、次の段階へ     |

### 朝霞は、にんじんの名産地

次年度、最高学年となる5年生は、総合的な学習の時間に、朝霞市のにんじんの素晴らしさについて探究しています。秋に街角調査へ出かけた際、意外にも、朝霞市はにんじんの名産地として認知されていないことに気づきます。「こんなに素晴らしい名産品があるのに、多くの方が知らないなんてもったいない」、「朝霞市の自慢になってほしい」、という思いが出発点です。「街に出てチラシくばりたい」、「近隣のスーパーとコラボレーションしたい」、「YouTube動画を出して視聴してほしい」、「配信メールを使ってお知らせしたい」などのアイデアが出ました。

そんな思いを実現してあげようと、学校運営協議会、学校応援団、地域の皆様のご協力をいただきながら、子供の試行錯誤を大切にしたい学びを進めてきました。この取組は、にんじんを認知してもらうための効果的な方法かどうか分かりません。しかし、問いを立て、試行錯誤をし、反省し、さらなる問いを立てる、という一連の「探究のサイクル」は、大人になっても必要な力だと感じてます。全ての学年で、試行錯誤のある教育活動が広がっていきました。

### 2040年、VUCAの時代を見据えた即戦力に

3月8日、中教審(※)は、「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとした、次期教育振興基本計画の答申を出しました。将来の予測が困難な「VUCA(※)の時代」を行く船に乗り込むのは、今の子供たちなのです。この2つのコンセプトは、未来に向けた灯台や羅針盤とも言えます。

少子化・人口減少、グローバル化・多様化・DX化の進展、地球規模の諸課題など、多くの社会課題が存在する中、Society 5.0を見据え、これからの社会を展望する上で、教育の果たす役割は大きくなっています。皆のウェルビーイングの実現のために、試行錯誤し続ける教育活動が求められています。2040年になると、今の子供たちは、日本や世界のウェルビーイングを創り出す人材、つまり、貴重な若手の即戦力(25歳から30歳)として活躍するのですから。

### さあ、令和5年度へ！ I can do it！ Let's do it！

身近で切実な課題に対して、問いを立て、試行錯誤を続けていくことが、学ぶ楽しさでもあり、生きていく楽しさでもあります。「自分で、自分から」という意識に加え、「誰かのため、みんなのため、何かのため」という相手意識・目的意識があれば、モチベーションも自然と上がります。同時に、ウェルビーイング(幸福)を求めて、試行錯誤をしていけば、誰もが、人生100年時代であっても、心身ともに充実し、生涯現役を貫けるのではないのでしょうか。

卒業生は、それぞれの中学校で、在校生は、六小で、さらなる「自律と探究」を目指してほしいです。この春休みは、これまでに身に付けた力を、さらに伸ばせるよう、力を蓄えてほしいです。子供たちには、令和5年度も、試行錯誤しながら「I can do it！」です。保護者・地域の皆様には、「Let's do it！」で、子供たちをご支援いただけるようお願いいたします。

※中 教 審 : 中央教育審議会のこと。大臣の諮問機関として文部科学省内に設置されている審議会。

※V U C A : 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態。1990年代後半の軍事用語が語源。

V(Volatility: 変動性)、U(Uncertainty: 不確実性)、C(Complexity: 複雑性)、A(Ambiguity: 曖昧性)